

「新潟県における畜産環境アドバイザーの普及・広報活動について」

社団法人 新潟県畜産協会 技師 谷川昌行
(アドバイザーNo. 0844)

(1) はじめに

新潟県の気象条件として、冬期間は日照時間が短く低温・高湿度となる特徴があります。そのため、冬期間は太陽エネルギーによる堆肥表面からの蒸散はほとんど期待できません。また、積雪の影響並びに圃場条件の悪化により、中山間地域では12月から4月下旬まで、平野部でも4月上旬まで堆肥の散布及び耕耘が困難となっています。

米どころである本県では、春先と秋の年2回に堆肥の需要が集中します。また、完熟堆肥でも屋根の下での管理が法的に必要なことから、4～5ヶ月間貯蔵できる施設がないと「家畜排せつ物法」がいう野積みの解消はできない状況にあります。

これまでは、低温多雪地域という不利な気象条件における家畜ふん尿処理に、多額の初期投資やランニングコストを必要としない施設をどのように取り入れて行くか頭を悩ませている状態でした。

(2) アドバイザー研修を受講して

私がアドバイザー研修を受講したのは、平成12年6月(堆肥化処理)と9月(汚水処理)ですが、受講前は「本当に自分に理解できるのか？」と不安に感じていました。しかし、研修を受けたことがある方ならご存知の通り、そんな不安はすぐに吹き飛んでしまったことは言うまでもありません。そこには本多先生の親切丁寧かつ熱心な講義

に夢中に聞き入っている自分がありました。当時、ほとんど知識が無い真っ白い脳ミンソ
ただだけに、すぐに本多色に染められてしまいました。

(3) 研修受講後の取り組み

アドバイザー研修を終えて、まず第一に感じたのは、「正しい知識をみんなに教えたい！！」ということでした。そこで、県、市町村、農協、関係団体の畜産担当者を対象に伝達講習会を開催し、「ふん処理の基礎」、「尿処理の基礎」、「堆肥化処理施設設計計算の実際」についてアドバイザー3人がそれぞれ担当して講習を行いました。ふん尿処理に関する意識改革に向け意味のある講習会を開催できたと自負しております。

さらに嬉しいことに、この講習会をきっかけとして、「新潟県でも実際に本多先生の話が聞きたい！！」という声が多くなり、なんとか先生に講演して頂きたく思っていたところですが、本年8月に「ふん処理の基礎と堆肥流通」について講演して頂き、大好評のうちに終了することができました。ただ、時間が少な過ぎたのが残念でした・・・。

また、某県の真似(?)をして、ふん尿処理施設・機械メーカーから取り寄せた設計計算書・見積書等をもとに適正なふん尿処理方式の検討を行った『新潟県における家畜排せつ物の処理方式』を作成し、雪国における処理方式を関係者並びに畜産農家に紹介しました。助言者として本多先生にも協力していただき大変感謝しております。

(4) 普及・広報活動について

皆さんはこんな経験をお持ちではないでしょうか？実際に農家を廻って助言・アドバ

イスをしているときに「あんたら何しに来たの？環境アドバイザーって何？」と言・・・
アドバイザーの存在すら知らない農家さんがあまりにも多いのです。正直私はショック
でした。と同時に反省の心が芽生えました。「畜産環境アドバイザーになって正しい知
識を身につけたものの、今の私はただ単にアドバイザーの資格に自己満足している
に過ぎないのではないかと？伝達講習も大切だが、ふん尿処理で困っている農家を助
けてやるのがアドバイザーとして一番重要なことではないだろうか？」。

アドバイザーになっても、何も行動しなければ意味がありません。多くの農家にコキ
使われてこそ本当のアドバイザーの価値が出てくると私は考えています。そこで本県
では、まず、アドバイザーの存在を広く畜産農家の皆さんに知ってもらいどんどん活
用してもらうことを目的として、パンフレット『にいがた畜産環境ガイド～畜産環境アド
バイザー名簿～』を作成し、全畜産農家に配布しました。このパンフレットは、家畜排
せつ物法の概要や1／2リース事業の説明とともに、県内のアドバイザー15名(当時)
の氏名、所属、役職、連絡先、電話・FAX 番号、終了講座、自己紹介コメントを顔写真
付きで紹介しています。このパンフレットを作成するにあたり、各アドバイザーに原稿
依頼をしたところ、誰一人として嫌がる顔もせずに喜んで書いて頂いたことに感謝す
るとともに、アドバイザー仲間の大切さと素晴らしさを実感しました。

パンフレット配布後のアドバイザーの使われ状況ですが、配布直後ではやはり、問
い合わせ等もほとんどありませんでしたが、最近、徐々に相談されることが多くなっ
てきています。特に養豚農家の汚水処理に関しては頭を悩ませている方が多く、アドバ
イザー同志でもどうするべきか検討しあっている状況ですが、3人寄ればなんとやら
で一生懸命知恵を絞りがんばっております。また、各地域でもアドバイザーが中心と
なった助言・アドバイスが行われるようになっており、少しずつではありますがアドバ
イザーの名前が浸透してきているようです。

12年度終了時点で、本県のアドバイザーはわずか18名しかいませんが、今後、ただ

単に人数を増やすことだけを目標にせず、「使えて使われるアドバイザー(仲間)」を増やしていけたら良いと考えております。



協同組合まつりでの堆肥に関するアンケート調査

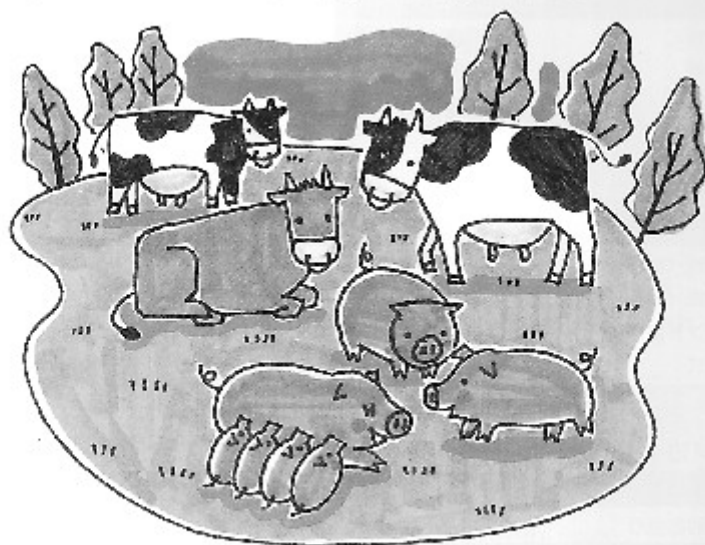
10月14日(日)、協同組合まつり会場において、堆肥流通PRとして、県内産堆肥の展示、パネル展示を行いました。また、堆肥に関する意識調査アンケートを実施した結果、700人以上もの方のご協力をいただくことができました。

畜産環境アドバイザー名簿

その前に… 畜産環境アドバイザーって何？ 誰??

農家の実態に向けた家畜ふん尿処理施設の整備や適切な処理システムの設計等について、アドバイスができる人材を（財）畜産環境整備機構が養成しているもので、堆肥化施設、汚水処理施設、臭気対策・新技術の3部門から成り立ちます。

**畜産農家のみなさん!! ふん尿処理について相談
事がありましたら、お気軽に連絡をください!!**



氏 名 徳 平 一 郎 (たけひら いちろう)

所 属 新潟県農林水産部畜産課 専門技術員 (畜産)

連絡先 新潟市新光町4番地1 TEL 025-200-5302・FAX 025-265-3587

終了講座 活水処理



自己紹介
コメント 多くの県内処理センターで研修の経験があり、講習会場の担当者や普及センターともにおもむきで
いたけると、色々なアツクアスができます。また、家畜集積施設や県内北、南地域の施設、施設集積が
利用した上で、研修会による実践やライブレクチャーなども可能なので、お人数での研修会、
研修会に普及センターを通じて頂くのがいい。

氏 名 生 藤 義 彦 (なとう よしひこ)

所 属 新潟県政務所 畜産課 課長

連絡先 新潟市西堀町1番地2 TEL 0254-26-0155・FAX 0254-22-2670
新潟工務局管内

終了講座 堆肥化処理



自己紹介
コメント 畜産部知事室には畜産の元上司が課長だったので、今後、畜産が一人物の部長として認められるに
必要を取り組みたいと考えています。そのために、少しでも研修に参加していきたいです。

氏 名 長谷川 悠 二 (はせがわ ゆうじ)

所 属 新潟県政務所 畜産課 主任

連絡先 長岡市川原町1番地2 TEL 0258-36-2566・FAX 0258-36-2673

終了講座 活水処理技術 臭気対策・飼料用



自己紹介
コメント マドバイザーの長谷川です。
畜産の経験が、畜産やメダカなどの畜産から畜産の技術に活かせるようにしたいです。また、多く
の研修会に参加しているため、少しでもお役に立てばと考えています。

氏 名 甲 斐 稔 (かい しのぶ)

所 属 新潟県政務所 主任

連絡先 北見市東小出町新田131-4 TEL 02578-2-5395・FAX 02578-2-2931

終了講座 活水処理



自己紹介
コメント 畜産部を補助に担当している一環です。
研修会に、研修の本事務が関わった上では、畜産が畜産であることの重要性が感じられていて、
畜産は北見、新潟県に畜産をまたがって、畜産の活用、活用を促すことが、畜産の活用、活用を促す
ことです。研修を受ける場合は、畜産部が畜産の活用を促すことが、畜産の活用、活用を促すこと
が、畜産の活用、活用を促すことです。

氏 名 大 矢 俊 行 (おおや としゆき)


所 属 新潟県政務所 畜産課 主任


連絡先 上越市本城町5-5 総合庁管内 TEL 0255-20-8078・FAX 0255-20-2688


終了講座 加圧化処理 活水処理





自己紹介
コメント 上越地域の方での相談をいただいています。

| | | |
|----------|---|---|
| 氏名 | 本間 祐司 (ほんま ゆうじ) |  |
| 所属 | 北海道農業改良普及センター 主任改良普及員 | |
| 連絡先 | 新篠田市豊町3丁目3-2 新篠田緑舎庁舎内 TEL 0254-26-9189・FAX 0254-22-1114 | |
| 終了講座 | 堆肥化処理 | |
| 自己紹介コメント | 堆肥が農産物の栽培にあたっては、いずれの作物でもコスト削減を心がけることが不可欠です。そのためには、農産物自体を資源として活用し、肥料を減らすことから、ある程度の時間をかけて内容を検討する必要性を認識してください。生産現場では、どんな取り組みを実施するかはもちろん、設計から施工まで根本の改善が最大の効果を得るよう、奮力できるまで検討しましょう。 | |

| | | |
|----------|---|---|
| 氏名 | 山崎 和弘 (やまざき かずひろ) |  |
| 所属 | 岩手県農業改良普及センター 主任改良普及員 | |
| 連絡先 | 村上市川原町5-25 村上緑舎庁舎内 TEL 0254-62-7923・FAX 0254-62-6782 | |
| 終了講座 | 汚水処理 | |
| 自己紹介コメント | 施設の導入を考えられている方、まずは相談に来て下さい。 | |

| | | |
|----------|--|--|
| 氏名 | 宮越 恵子 (みやこし けいこ) |  |
| 所属 | 北海道農業改良普及センター 主任改良普及員 | |
| 連絡先 | 新篠田市豊町3丁目3-2 新篠田緑舎庁舎内 TEL 0254-26-9189・FAX 0254-22-1114 | |
| 終了講座 | 堆肥化処理 | |
| 自己紹介コメント | 北海道の様々な施設に自給、何がお役に立てないか、思いがけないアイデアを提案を頂きました。「お話を聞いてみたい人だらけだねー」「今までの通りでいいからー」と、気でも結構な数のご依頼に感謝です。よろしくお願ひします。 | |

| | | |
|----------|--|---|
| 氏名 | 菅 宣 重 (くさのふみしげがす) |  |
| 所属 | 北海道農業改良普及センター 普及代理 | |
| 連絡先 | 北見市南川町(大塚新田)9-4 TEL 02579-2-7291・FAX 02579-2-8505 | |
| 終了講座 | 臭気対策・新技術 | |
| 自己紹介コメント | 臭気化が進むなか、畜舎環境によって更に臭気対策のコスト削減が求められる時代に参入している会社があります。また、「家畜排せつ物法」に付いた対応が手配に上られています。それ以外の課題は別途した方が多くありますので、経営と施設の両方ともご検討することで、入念の調査後の支援がはたさないと考えています。よろしくお願ひします。 | |

| | | |
|----------|---|---|
| 氏名 | 小椋 渉 (おやなぎ わたる) |  |
| 所属 | 畜産研究センター 主任研究員 | |
| 連絡先 | 南砺市郡下田村国崎178 TEL 0756-46-8103・FAX 0756-46-4866 E-mail: w.onogi@ori.pref.niigata.jp | |
| 終了講座 | 汚水処理 | |
| 自己紹介コメント | 畜産施設畜舎環境研究の畜産研究センターの小椋です。現在、畜舎環境衛生に関する施設研究を行っています。この研究は県民の健康・利用ですが、汚水処理・臭気対策についても非常に重要なことと捉えています。具体的な技術については情報交換・お話ししたいのですが、お気軽にお問い合わせください。 | |

